

## 第5回 としょかん未来ミーティング 自由意見

意見、質問への回答
パソコン等を設置して、データベースも利用できるようにしてほしい
DVD、や音楽等は？
郷土資料に重きを置くと、本末転倒にならないか？
カフェはどのあたりに？
参加者が偏っている。市民にはまだまだ知られていない。
郷土資料に重きを置くと、本末転倒にならないか？
郷土資料は現在の資料館面積の600㎡から300㎡になるが、その他展示出来ない資料は？
→別途保管場所を確保している。温湿度管理の必要なものは図書館内に収蔵庫を設けて保管する。
長船町公民館の図書室の整備は？
→新図書館の開館に合わせて整備を検討している。
学校図書館との連携を。
郷土資料はモノ、画像等を、図書としての郷土資料も近くに置くのか？
→そのように構想している。
障害者、特に視覚障害者へのサービスは？
→音訳図書の整備を行なう。最近、サピエ図書館という共同で利用できる図書館から電子化されたデータを取得して音訳図書として提供できる。
貸出の履歴を知りたいという要望がある。ケイタイやスマホにデータを取り込めるようにしては？

→レシートを発行させて頂いているが、今後、「貸出通帳」のようなサービスや、履歴データを希望に応じて提供することも検討したい。

移動図書館は、デイサービス等の施設にも巡回する予定はあるか？

→人員の整備に合わせて、高齢者の入所、通所施設にも巡回する計画である。また、要望に応じて図書館から距離のある地域へも巡回を実施する。

開館時間については、せめて19時ぐらいまではあけて欲しい。

郷土資料はすべて禁帯出となっているが？

→複本のあるものは貸出を出来るようにしていく。また、それほど資料によっては貸出期間を短くして貸出することも検討したい。

マンガなども置いて、中高校生が集まれる場所にしてほしい。

司書との出会いを大切にする図書館に。

郷土資料をうまく有効に利用されるようにしては。

声を上げていなくても、新図書館に期待している人は多い。

もっと広く広報をすべきだ。

イベントを知らせる場が欲しい。

郷土資料では、吉井川の水害など、災害の記録、歴史を紹介してほしい。そこから現在の災害対策を学べるはず。

地名の由来などを紹介してほしい。

災害時の避難場所としての役割は？

→中央公民館が避難所となっているが、今後関係課と協議したい。想定していたのは図書館の広場にかまどに早変わりする「防災ベンチ」の設置がある。

「集いのスペース」は、様々な利用が出来るように。防音をしてピアノの演奏も出来るようにしてほしい。

音の住み分け、防音のゾーニングの工夫を。

電子書籍の配信は？

→検討している。現在はまだ魅力的なコンテンツが揃っていない。状況を見ながら研究を進めたい。郷土資料をデジタル化して手軽に利用してもらえるようにしたい。

来館者の交通手段は？ 遠方の市民のためにバスを運行することも検討しては？

「図書館では静かに」と子どもに教える必要があるのでは？

図書館というと、どうしても子連れでいきにくい。

書店と同じ間隔でよいのでは…。最低限のマナーは必要。

外と中の中間のような空間。子どもが動ける部分もほしい。

市役所から情報を分散して、図書館で情報のワンストップサービスを。

開館時間は9時まで？ 5時よりは遅くしてほしい。朝早い開館日があってもよいのでは。

郷土資料の開設なども、「シニアスタッフ」とか、ボランティアとの協働を。要請講座なども開催してはどうか。

「友の会」と講座の企画を一緒にしてはどうか。「新しい公共」の取り組みを図書館でやってみたい。